

ろう学校だより 3学期3月号



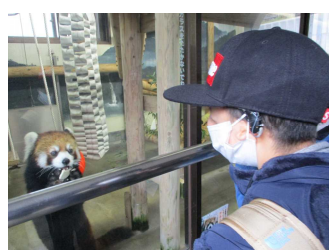
2020年3月発行
佐賀県立ろう学校
教務部・支援部

☆☆これまでに行われた3学期の主な行事等を紹介します。☆☆



福岡市動物園に行きました 小学部

2月12日(水)小学部は「思い出づくり」で、福岡市動物園に行きました。佐賀駅に集合・解散とし、自分で券売機からチケットを買い、JRやバスで移動しました。動物園は今改装が進んでいて、エントランスからすぐのズーラボでは、この動物園にいた動物たちの迫力ある骨格模型が出迎えてくれました。時折雨が降ることもありましたが、じっくり見学できました。目の前で見たレッサーパンダの餌やりでは「可愛い～」と大喜びの子どもたちでした。小学部4人での楽しい思い出を作ることができました。



ボランティア活動 中学部

2月14日(金)中学部では、年間で行ってきたボランティア活動のまとめとして、ユニセフ佐賀支部と、NPO佐賀大学スーパーネットへ校外学習に行きました。ユニセフには、空のインクジェットカートリッジと使用済み切手を佐賀大学には、ペットボトルのキャップを届けに行きました。ユニセフ佐賀支部では出前授業としてユニセフの活動内容や世界の子どもたちの様子と私たちにできることなどを学習しました。



高等部 被服科生徒 針供養

高等部の被服科では、毎年2月に針供養を行っています。2月6日(木)、被服科の生徒が、日頃の授業で使っていた縫い針への感謝と裁縫の上達を願って、針供養を行いました。

この行事は折れたり曲がったりして、役目を終えた縫い針を柔らかい豆腐に刺すことで、感謝の気持ちを表すものです。生徒たちは真剣な表情で針を刺し、裁縫の上達を願っていました。



豆まき 幼稚部

幼稚部では2月3日、『豆まき』をしました。制作の時間に作った鬼のお面を紹介し、お腹の中にある鬼を発表しました。園庭に青鬼がやって来ると、みんなで「鬼は外、鬼は外。」と元気に豆をまき、甘えん坊鬼、きよろきよろ鬼、甘ったれ鬼、泣き虫鬼を追い出しました。鬼が去った後は、年の数だけの大豆と色々な豆をおやつに食べました。



「なぎなた」の授業 高等部

体育の武道授業で、「なぎなた」に取り組みました。最初は、基本的な礼儀作法や持ち方などを学び、少しずつ動き方を練習しました。単元の最後には、道着と袴を身に付けて気持ちを高め、二人組で型にも挑戦しました。日本の伝統的な武道と接する機会は少なく、生徒たちは、初めて持つなぎなたや袴などに興味津々で、意欲的に学習に取り組んでいました。



防犯教室を実施しました

1月30日に防犯教室を行いました。中学部高等部はケータイ・スマホ安全教室を、小学部は不審者への対応について学習しました。中学部高等部は電話会社から講師を招き、スマホによる人間関係のトラブルやその対処方法、スマホを所持する際のルールについて教えていただきました。

小学部では「不審者や知らない人に声をかけられたらどうしたらよいか」をテーマにして、ロールプレイやクイズで考え、「知らない人は良い人か悪い人かわからないため距離をとった方がよい」ことを学びました。



★巡回相談★ 随時受付中！

<障害のある子どもの学校生活支援事業を御活用ください>

幼稚園・保育所・こども園、小・中・高等学校等に職員を派遣し、子どもの実態把握や支援方法の改善について、相談支援及び研修支援を行っています。

聴覚障害はもちろん、発達障害に関する相談にも対応します。「きこえ」や「ことば」について気になることがありましたら、電話・FAX・メール等で、お気軽に「支援部」までご相談ください。

TEL:0952(30)5368 FAX:0952(34)1043

メール: rougakkou@education.saga.jp